



令和8年度大田市立第一中学校 学校便り

一実一路

第4号

2026.7.17

文責：竹下和宏

〒694-0064 大田市大田町大田口 656

梅雨が明け、先週から本格的な夏を思わせる蒸し暑い日が続いています。本日、67 日間の1学期を締めくくる終業式を無事に迎えることができました。

生徒たちにとって年度スタートの1学期は、環境も変わり、変化の中で慌ただしく過ぎ去った4カ月だったのではないのでしょうか。新しい環境に適応しながら、日々の学習はもちろん、様々な学校行事や体験活動を通して、生徒たちには生活面、学習面共に大きな成長が見られました。1学期を終えるにあたって、「応援される人」としてどう行動できたか、一人一人が学習への取組や、あいさつ、言葉遣いなど自分の行動をしっかりと振り返り、次の学期につなげてほしいと思います。

明日からは、いよいよ39日間の夏休みが始まります。また、部活動においては、明日から「島根県中学校総合体育大会（県総体）」、8月1日に「全日本吹奏楽コンクール島根県大会」が開催されます。日頃の練習の成果を存分に発揮し、一中生としての誇りをもって頑張ってくれることを期待しています。夏休み中は、家庭で過ごす時間が長くなりますが、規則正しい生活をして生活リズムを崩さず、事件や事故のない安全な生活を心がけてください。そして、地域での活動や行事にも積極的に参加し、中学生として地域社会に貢献できることに進んで取り組んでほしいと願っています。

心肺蘇生法講習会

7月9日、日本赤十字社島根県支部から2名の講師の方々をお招きし、2年生を対象とした「心肺蘇生法講習会」を実施しました。講習では、目の前で人が突然倒れた瞬間を想定した声かけから始まり、胸骨圧迫（心臓マッサージ）の正しい手順、そしてAED（自動体外式除細動器）の具体的な使い方まで、実技を交えて詳しくご指導いただきました。生徒たちは一様に真剣な表情で取り組み、人形を使った訓練に汗を流していました。万が一の事態に遭遇した際、一歩踏み出す勇気と、かけがえのない命を守る責任感を強く意識する大変貴重な時間となりました。



地域貢献活動

7月9日、3年生が地域貢献活動の一環として「大田市民公園プール」の清掃活動を行いました。日頃から様々な場面でお世話になっている地域への感謝の気持ちを込め、プールサイドや壁面の頑固な汚れをスポンジやブラシで一生懸命に落としました。中学生自身がこのプールを利用する機会は少ないかもしれませんが、夏休みの市民プール開放時には、多くの小学生や市民の皆さんが利用される施設です。誰もが気持ちよく安全に使用できるよう、隅々まで美しく磨き上げました。今後も中学生としてできることを考え、積極的に地域へ貢献できる活動に取り組んでいってほしいと思います。



曲決め集会

7月8日、11月に開催される文化祭の「合唱コンクール」に向け、各学級の発表曲を決定する「曲決め集会」を行いました。各学年とも、全体で事前に用意された候補曲8曲を聞いた後に一人一人がタブレットを使って投票し、学級の合唱曲を決定しました。

	1組	2組	3組	4組
1年生	大切なもの	Believe	空は今	あさがお
2年生	HEIWAの鐘	COSMOS	地球星歌 ～笑顔のために～	心の瞳
3年生	結—ゆい—	手紙 ～拝啓 十五の君へ～	YELL	あなたへ —旅立ちによせるメッセージ—

デートDV防止講演会

7月7日、島根県立男女共同参画センター「あすてらす」の職員の方を講師にお迎えし、3年生を対象とした「デートDV防止講演会」を開催しました。デートDVとは、交際相手との間で起こる暴力のことです。お話の中では、暴力が単に「殴る・蹴る」といった身体的なものだけではないことが強調されました。相手を言葉で傷つける精神的暴力、行動を厳しく制限する束縛など、様々な形態の暴力があることを学びました。お互いが心地よく、対等な関係でいるために必要なルールや、相手への思いやりの持ち方について考える大切な契機となりました。



学級弁論大会

7月7日、国語の時間を中心に取り組んできた弁論の成果を披露する「学級弁論大会」を開催しました。生徒たちは「日頃考えていることや感じていること」を真剣に文章にまとめ、各学級で一人ずつ堂々と発表しました。言葉を通して自分の考えを伝える難しさと、他者の多様な考え方を尊重して受け入れる大切さを、学級全体で深く学ぶ貴重な機会となりました。



メディアリテラシー講演会

7月1日、浜田少年サポートセンターと大田警察署から講師の方をお招きし、全校生徒を対象に「メディアリテラシー講演会」を開催しました。現代の中学生にとって、スマートフォンやSNSは非常に身近で便利な道具となっています。しかし、その一方で、ネット上でのトラブルや犯罪に巻き込まれるリスクも潜んでいます。講演では、ネットに書き込んだ情報が一生消えないリスクや、対面ではないからこそ生じるコミュニケーションの誤解について、具体的な事例を交えてお話しいただきました。



「つらい時は、周りを見てみよう。あなたを大切にしてくれる人は、あなたの周りに必ずいる」というメッセージを受け止め、ネットの友達だけに頼らず、困ったときは身近な大人や相談窓口（浜田少年サポートセンター等）に相談する大切さを学びました。正しい知識を身につけ、情報の真偽を見極める力を今後も培っていきましょう。